

問18 あなたが、同和問題について知ったきっかけは、次のどれですか。(✓は1つ)

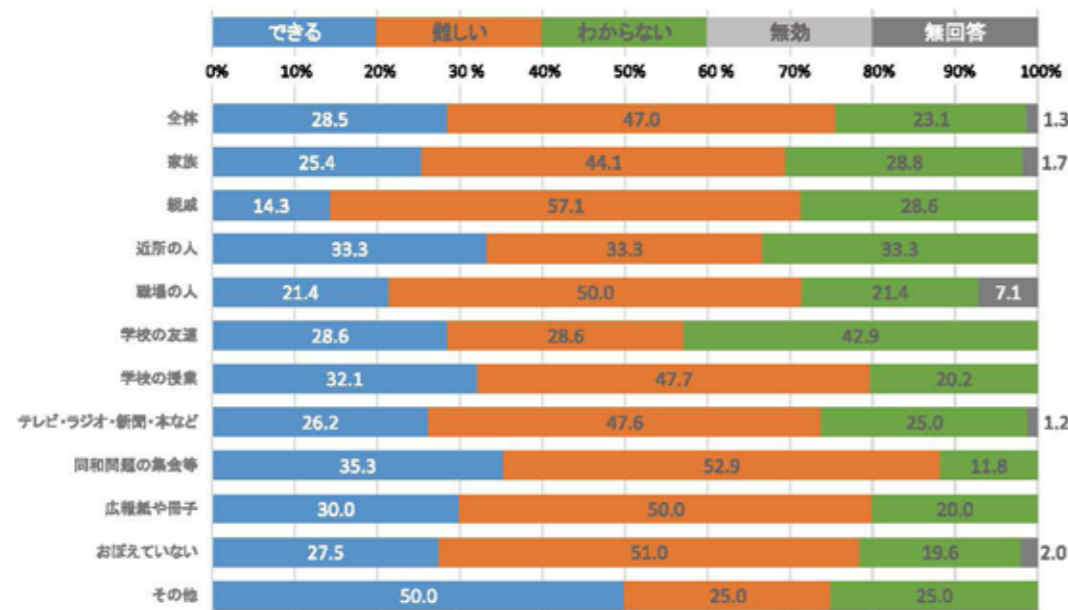
問20-2 それは近い将来なくすことができると思えますか。(✓は1つ)

- | | | |
|---|---|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 家族（祖父母、父母、兄弟など）から聞いた 2. 親戚の人から聞いた 3. 近所の人から聞いた 4. 職場の人から聞いた 5. 学校の友達から聞いた 6. 学校の授業で教わった 7. テレビ・ラジオ・新聞・本などで知った 8. 同和問題の集会や研修会で知った 9. 県や市町の広報紙や冊子などで知った 10. 同和問題を知っているが、きっかけはおぼえていない 11. その他（具体的に： ） | × | <ol style="list-style-type: none"> 1. なくすことができる 2. なくすことは難しい 3. わからない |
|---|---|--|

表2)-2 問18×問20-2

	人数	なくすことができる	なくすことは難しい	わからない
全体	389	28.5	47.0	23.1
家族	59	25.4	44.1	28.8
親戚	7	14.3	57.1	28.6
近所の人	9	33.3	33.3	33.3
職場の人	28	21.4	50.0	21.4
学校の友達	7	28.6	28.6	42.9
学校の授業	109	32.1	47.7	20.2
テレビ・ラジオ・新聞・本など	84	26.2	47.6	25.0
同和問題の集会等	17	35.3	52.9	11.8
広報紙や冊子	10	30.0	50.0	20.0
おぼえていない	51	27.5	51.0	19.6
その他	8	50.0	25.0	25.0

図2)-2 問18×問20-2



■同和問題を認知し差別はあると回答した 389 人の結果

「差別を解消できる」と回答したのは、認知方法別で「集会や研修会」が 35.3%で最も多く、次いで、「近所の人」33.3%、「学校の授業」32.1%となっており、解消が難しいと回答したのは「親戚」が最も多いが、「同和問題の集会等」での認知も多い。

問18 あなたが、同和問題について知ったきっかけは、次のどれですか。(✓は1つ)

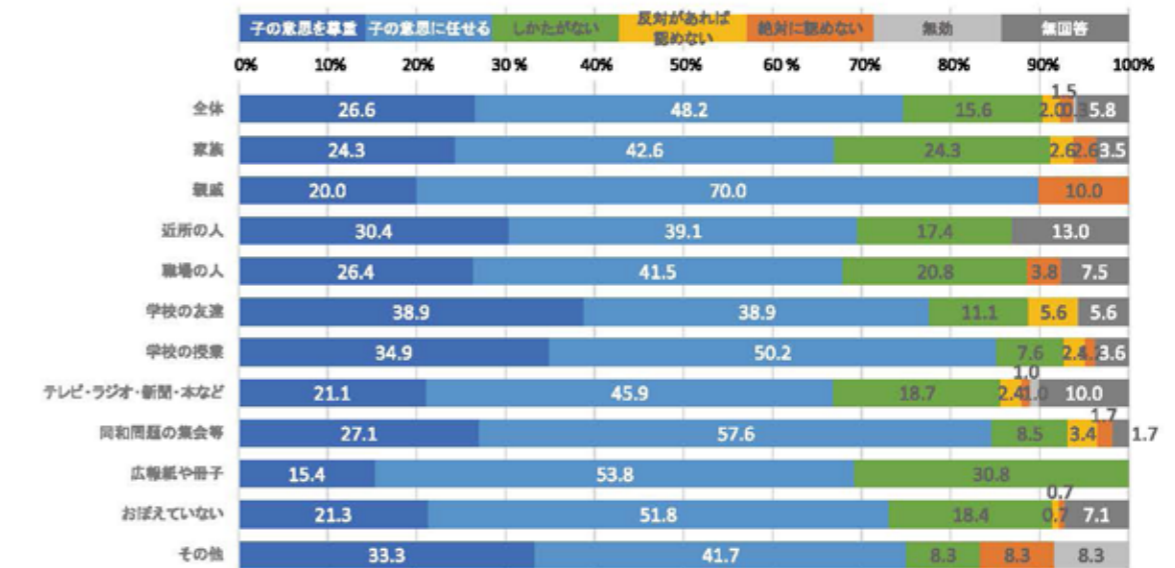
問23 仮に、あなたにお子さんがいるとして、あなたのお子さんの結婚しようとする相手が、被差別部落(同和地区)の出身であることを知った場合、あなたはどのようにしますか。(✓は1つ)

- | | | |
|---|---|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 家族（祖父母、父母、兄弟など）から聞いた 2. 親戚の人から聞いた 3. 近所の人から聞いた 4. 職場の人から聞いた 5. 学校の友達から聞いた 6. 学校の授業で教わった 7. テレビ・ラジオ・新聞・本などで知った 8. 同和問題の集会や研修会で知った 9. 県や市町の広報紙や冊子などで知った 10. 同和問題を知っているが、きっかけはおぼえていない 11. その他（具体的に： ） | × | <ol style="list-style-type: none"> 1. 子どもの意思を尊重し、親として応援をする 2. 子どもの意思に任せる 3. 親として反対するが、子どもの意思が強ければしかたがない 4. 家族の者や親戚の反対があれば、結婚を認めない 5. 結婚を絶対に認めない |
|---|---|--|

表2)-3 問18×問23

	人数	意思を尊重し、応援する	意思に任せる	意思が強ければしかたがない	家族等の反対があれば認めない	絶対に認めない
全体	915	26.6	48.2	15.6	2.0	1.5
家族	115	24.3	42.6	24.3	2.6	2.6
親戚	10	20.0	70.0	0.0	0.0	10.0
近所の人	23	30.4	39.1	17.4	0.0	0.0
職場の人	53	26.4	41.5	20.8	0.0	3.8
学校の友達	18	38.9	38.9	11.1	5.6	0.0
学校の授業	249	34.9	50.2	7.6	2.4	1.2
テレビ・ラジオ・新聞・本など	209	21.1	45.9	18.7	2.4	1.0
同和問題の集会等	59	27.1	57.6	8.5	3.4	1.7
広報紙や冊子	26	15.4	53.8	30.8	0.0	0.0
おぼえていない	141	21.3	51.8	18.4	0.7	0.7
その他	12	33.3	41.7	8.3	0.0	8.3

図2)-3 問18×問23



■同和問題を認知している 915 人の結果

「意思を尊重し、応援する」と回答したのは、認知方法別で「学校の友達」が 38.9%で最も多く、次いで、「学校の授業」34.9%、「近所の人」30.4%と続き、以下「同和問題の集会等」、「職場の人」、「家族」、「テレビ・ラジオ・新聞・本など」、「親戚」、「広報紙や冊子」の順となっている。一方、「絶対に認めない」は認知方法で「親戚」が 10.0%で最も多かった。